

S

広報さらべつ 6月号

Public Relations Sarabetsu 2013 vol.609

Sarabetsu



さくらんぼももも

5月27日 ようやく開花宣言！



実行委員長

きやま たくや
木山 卓也 さん
第1回大会から役員を、昨年は実行委員長を務めるBAMBAの大黒柱的存在

Q さらに「11年目の夏」の注目すべき点はどこですか？

A 11年目ですが当初からBAMBAの主役はトラクターです。やはりレースやパレードに注目してほしいです。ただ今年は、開拓当初の農業の原点である馬耕を、リッキー君に協力してもらい皆さんにお見せしたいと考えています。また、高規格幹線道路開通イベントで使用したトラクターで引く遊覧車の搭乗など新しい試みを用意しています。

Q “十勝11年目の夏。風雲地ザムライ参上”のキャッチコピーにはどのような想いが込められていますか？

A キャッチコピーは今年もイベントのアドバイザーである伊東徹秀氏に考えてもらいました。11回とそれを漢字にした土や風雲児と地侍がかけてあるそうです。更別の雄大な大地で荒々しく暴れまわるトラクターをイメージしており、私もとても気に入っています。

Q 昨年は豊かな村づくり表彰において農林水産大臣賞を受賞し、注目度もアップしていますが？

A 大変名誉な賞を頂きましたが初心を忘れず、「更別村は元気です！」ということを発信し、更別の魅力を多くの人に伝えていきたいです。第11回ということで新たな10年へ向けて取り組んでいきます。

Q 皆さんに一言メッセージを

A 家族みんなで楽しんでもらえるように実行委員で知恵を絞っています。皆さんのご来場をお待ちしています。

意外と知らないBAMBAの起源

平成14年度に商工会が実施した地域資源調査事業が発端。村には何があるのかと農家や商工会の若手をはじめ、みんなで頭を悩ませた結果、「大規模農業」「肥沃な大地」「トラクター社会」というキーワードが浮かび上がります。必然的に「BAMBA競技」が創造され、これを新スポーツイベントとして企画し実行したことが起源です。

問い合わせ
国際トラクターBAMBA実行委員会
☎52-2010(更別村商工会)



総務部会

部会長

いしむら かずや
石村 和也 さん

ステージでは鹿追町から郷土芸能の白蛇姫舞保存会の演舞や、池田町から話題の池田高校吹奏楽部にも登場してもらい、さらべつの枠を超えて皆さんで盛り上げていきたいと考えています。もちろん今年も実行委員長が十勝トラバン音頭をうたいますよ！



環境対策部会

部会長

もり た こうじ
森田 弘二 さん

ジャガイモシストセンチュウなどの病害虫や家畜伝染病の発生予防対策を行なっています。出場者には各農場を出発するときに洗浄を義務付けたうえで、会場でも高圧洗浄機で何度も洗浄します。1台ずつ真心込めて洗います！



パレード部会

部会長

かく げん しんや
角玄 真也 さん

更別市街を競技参加メカ馬36台が迫力満点の行進をします。中には1台数千万円のトラクターもいて、大規模農業地帯さらべつならではの風景で、他では見られないのではないのでしょうか。沿道で御者(ドライバー)に手をふってください！



レース部会

部会長

いまい ともひろ
今井 智裕 さん

競技では、全長150メートルのスラロームのコースを馬力の違う4カテゴリーで争います。ポールを倒さないように走るテクニックにも注目。今年からカテゴリー分けを変更したため、より僅差のレースとなり盛り上がること間違いなしです！！



交流出店部会

部会長

のや じょうじ
野矢 譲司 さん

交流広場では今年も多くの出店があります。特産のさらべつうどんがおすすめです。500円ごとにメカ馬投票券を配布しますので、決勝レースの順位予想も楽しめます。新しいBAMBAオリジナルグッズも販売予定です。ぜひ一度足を運んでください！

十勝11年目の夏。

風雲地ザムライ参上。



国際トラクターBAMBA実行委員会



国際トラクターBAMBA実行委員会



国際トラクターBAMBA実行委員会



国際トラクターBAMBA実行委員会



国際トラクターBAMBA実行委員会

7/14(日) 家族みんなで

BAMBAへ行こう

今年で11回目の開催となる国際トラクターBAMBAは、更別農業の特性を生かしたイベントで、

昨年は1万7千人を超える来場者を数える村の一大イベントとなりました。

イベントのメインはなんといってもBAMBA競技。普段は農作業に使われているトラクターが、この日ばかりは主役となり重たいコンクリート製のソリを引き速さを競います。ほかにパレードや出店、ステージイベントなど盛りだくさん。

今年の見所などを、実行委員長の木山卓也さんと実行委員の皆さんに聞いてみました。



野生鳥獣の被害にお悩みのあなたへ

村では、エゾシカなどの野生鳥獣による農作物被害は毎年数百万円にのぼり、被害防止対策に向けて狩猟者の育成が急務となっています。

このため、平成21年度から更別村鳥獣害防止対策協議会を設置し、村と更別村農業協同組合の経費負担で、狩猟免許取得経費と用具整備費用の助成をして狩猟者の育成を行っています。

今年度も狩猟免許取得試験が帯広市で3回開催されます。免許取得のご協力をお願いします。

まずはわなの免許を
取得してみませんか？

■狩猟免許取得試験

●受験種類

網猟免許、わな猟免許、第一種銃猟免許、第二種銃猟免許

●受験資格

北海道内に住所を有する方(20歳未満、精神障害などの病気にかかっている方、麻薬や覚せい剤などの中毒者は免許を取得できません)

●試験申込

受験希望の方は、役場産業課で申請書を受け取り、試験受付期間までに十勝総合振興局に提出してください。

●試験内容

適正試験、知識試験、技能試験(適正試験と知識試験の合格者のみ受験)

●申込手数料

申込手数料5,200円と医師の診断書交付手数料(病院で定める額)

●試験日

◆第1回目試験 7月7日(日) ※受付5月21日～6月21日

◆第2回目試験 12月8日(日) ※受付10月22日～11月22日

◆第3回目試験 2月2日(日) ※受付12月17日～1月17日

●試験会場

十勝合同庁舎 (十勝総合振興局)

■費用の助成

狩猟免許を取得し、捕獲出動要請に出役できる方に費用の一部または全額を助成します。

①狩猟免許の取得に要する費用

費用の全額を助成

②銃の所持許可に要する費用

費用の全額を助成

③銃の購入費用の助成

費用の3分の2程度を助成

④箱わな・くくりわなの購入費用の助成

費用の2分の1を助成

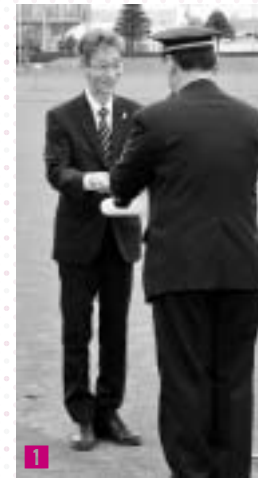
※①～③の合計で1人当たり20万円を限度に助成します。助成について、捕獲出動要請があったときには6割程度の出役が可能の方などの要件がありますので詳しくはお問い合わせください。

■出役報酬

捕獲業務に従事したときは出役 報償費(例 エゾシカの一斉駆除5千円)、捕獲したときには捕獲報償費(例 エゾシカ一頭6千円)をお支払します。

■問い合わせ

更別村鳥獣害防止対策協議会事務局
(役場産業課林務係) ☎52-2115



①団長から感謝状②機敏な動き
を見せたポンプ操法③どんぐり
保育園児も一緒に行進④模擬火
災訓練で素早く消火⑤団員の一
系乱れぬ隊列



更別消防団春季消防演習

自分たちの『地域』を守る

消防団のみなさんは、それぞれ本業を持ちながら、大規模な火災や災害の発生時に活動する消防組織で、「地域を守るんだ」という団員のボランティア精神で成り立っています。

5月24日更別消防団が村運動広場で春季消防演習を実施。演習には58名の団員が参加し、多くの来賓が見守る中で機敏な動作を披露するなど、日頃の訓練の成果を発揮していました。



新入団員紹介

第1分団
山田 和範さん
自分の生まれ育った更別をしっかりと守れるように日々精進します。



第2分団
高橋 直人さん
分からないことばかりですが、先輩たちの背中を見て精一杯頑張ります。



表彰

消防庁長官定例表彰

永年勤続功労章 太田 智範さん

日本消防協会定例表彰

功績章 太田 智範さん

南十勝消防事務組合表彰

感謝状 高木 修一さん

感謝状 三浦 光浩さん

更別消防団表彰

感謝状 高木 修一さん

感謝状 三浦 光浩さん

平成15年より更別消防団の団長を務めている太田さんと、永年にわたり消防団活動に貢献され、昨年退団された木さんと三浦さんが表彰を受けました。

退団された方には感謝するとともに、太田団長はじめ団員のますますの活躍が期待されます。

ご確認ください 携帯電話からの119番について



南十勝消防事務組合更別支署
消防グループ 梶浦 宏喜 消防士

- 更別村内から携帯電話で119番通報すると、消防本部のある広尾消防署に転送されます。その後、住所を聞かれますので、伝えることで更別消防支署につながります。
- 携帯電話から119番通報するときは、目標となる建物や看板などで現在地を確認してください。また、車で走行中のときは、安全な場所に停車し通報してください。(走行中、運転手の携帯電話使用は道路交通法違反となります。)
- 119番通報後も消防署から、その後の状況などを確認するために、携帯電話に連絡することがありますので、電源を切らないでください。
- 高規格幹線道路からの通報では、近くに非常用電話があれば場所の特定などに役立ちます。

問い合わせ

南十勝消防事務組合更別支署消防グループ ☎52-2201



すももの里「当時」「今」「未来」

平成25年度更別村の5月のイベントはすももが主役でした。そこですももの里の造成時の話から、現状、そして今後についても一度みなさんと振り返り考えてみます。

すももでまちおこしはじめました

「すももの里」事業をはじめた当時のキーパーソン日崎幹雄さんと道見直雄さんに地域おこし協力隊の渡邊さんがお話を伺いました。



写真左から日崎さん、道見さん、渡邊さん

事業をはじめた経緯は？
昔は農家の庭先にはすももの木がありました。アブラムシが出るからと切ってしまうことも。もう一度それを再現して、まちおこしの糧として活用しよう、当時の高木光雄商工会長



すももの木がまだ植えられていない当時のすももの里の様子

当時、すももの里になる前の土地は山林で、笹は伸びており、ヤナギやカシワなどいろいろな木が生えて、雨が降ると水が湧き出てくるような場所でした。そんな山を我々の手で開発するのは一苦労でした。

最初にオーナーを募集したのは昭和62年でした。一人5本ずつ60人で300本。すると2日間で80人の応募がありました。ただ、60人分しか用意してなかったため、翌年に思い切った増やそうと十勝管内に呼びかけ

ました。それも応募者が殺到して、最終的に1000本のすももの木を植えることができたようになり、オーナーも200人になりました。中にはアブラムシの心配をする人もいましたが、しっかりと防除対策もとって、皆さんにも迷惑をかけないように管理も責任をもってやるという話をしながら、理解していただき、最後には農家の方もオーナーになってもらいました。



白く愛らしい花を咲かせる昨年のすももの木

今後への思いは？
私たちは当初からすももを売だけじゃなく、花も楽しんでもらいたいと思っていました。村内の人に花見を催しますといっても、畑が忙しいからなかなか出歩けません。それで村外に呼びかけて、お客さんに来てもらう催し物にしなければならなかった。そして去年初めてイ

ベントを開催して、寒い日だったけど結構お客さんが集まってくれました。思いが実現してうれしかったです。
今後は花を楽しんでもらう以外にも、イベントをやってみてもいいかもしれないですね。今は高校生ががんばってくれているから、これに村も力を出してあげて、ますます成功していけたら、次の展開につながるとうなと楽しみにしています。

すももを次代につなぐ植樹祭

5月12日、あいにくの曇り空でしたが、159名の参加で植樹祭を開催しました。今年は



上手にスコップを使って穴を掘る子どもたち

シーニックバイウェイ&ガーデン街道美しい北海道景観を育てる会も共催しプラムカントリの入り口付近にヤマナラシエレクタを6本植樹しました。



大きくなあれと願いを込めて

すももの里の一角には、第8回ニトリ北海道応援基金の協力により3種類のすももの木120本を植樹。役場担当者からの説明を受け、参加者はスコップを持ち植樹場所に移動を開始。子どもたちは、穴を掘るのに四苦八苦した様子でしたが「このすもももきれいな花が咲いて、甘くて美味しい実がつくといいね」という声が聞かれました。この日植樹したすももの木は、役場産業課によると「おそらく3年後には花を咲かせ、実をつけるのではないでしょう」とのことです。

すもものイメージ定着へ

5月19日、すももの里特設会場にて「第1回すももの里まつり」(更別村観光協会主催)が開催されました。

約1000本のすももの木が植えられた会場に午前10時の開場前からたくさんの方が来場。今年は天候不良が続いたため、すももの愛らしい花と甘い香り

に包まれることはできませんでしたが、昨年より200人多い1000人の入場者(主催者発表)で大盛況のうちに終了しました。
帯広からの来場者は「最近すももの花はあまり見ることができないので来ました。花が咲いていなくて残念ですが、満開の頃にもう一度訪れたいです」と話してくれました。



❶残念ながら花を咲かせなかったすももの木々❷家族で走り回ったスタンプラリー❸豪華景品が当たるガラポン❹美味しいものがいっぱい飲食広場❺とかち青空レディとの〇×ゲームで大盛り上がり



すももの特産品でまちおこし

すももの里まつりで更別農業高校が販売したすももの加工品はスモモ・デ・パティシエール、サラダ(すもも)、すもものヨーグルトドリンクの3種類。スモモ・デ・パティシエールは用意していた50個がイベント開始5分で完売。残る2つの商品も正午には全て完売となりました。



更別農業高校の加工分会Aの取り組みが北海道開発局が主催する「わが村は美しく北海道」運動において優秀賞を受賞しました。加工分会Aは、地域資源を有効活用したむらおこし」を合言葉に2009年か

ら商品開発を継続して取り組んでいます。担当の大和田先生は「高校生の活動が地域ぐるみのものになっていることが評価されたのでは」と受賞理由を語っています。高校では今年もすももを使った新たな商品開発に着手。生徒たちからの若さ溢れるアイデアでより良い商品が期待されます。



また、さらべつ振興公社が運営する道の駅ピポパでは、昨年始めて販売した「すももの飲むヨーグルト」は好評で完売し、今年も販売することを検討中。すももの里まつりにおいてもすももジャムを添えたアイスを販売し、最高気温が9度という冷え込みにも関わらず35個を販売。道の駅内レストランポテトにおいても人気商品となつています。

すももを使った商品が増えることで、すももが本格的にまちおこしに一役買うことが予想されます。

ほ・こ・り

昭和61年にまちおこしにとスタートした「すももの里」の事業。それまでも加工品を制作するなどの試みは見られましたが、お世辞にも成功したとは言いがたいものでした。事業のスタートから20年以上経過し、更別農業高校の加工品の取り組み、それに対する外部からの評価、植樹祭を通したすももの木の更新、すももの里まつりとしてのイベントの開催による更別の魅力発信など、ようやく当初思い描いていたすももの里事業の花が咲きつつあります。これらのものをしっかりと実(観光PRの資源)へと成長させ、収穫できる形(すももの里)更別村であり、毎年満開時期には訪れたいという認識にしていけることが今後の課題ではないでしょうか。



テーマ『食中毒の予防』

今年も食中毒の発生が増える季節が近づいてきました。

家庭での食中毒は、症状が軽かったり、発症する人数が少ないことから風邪や寝冷えなどと思われ、食中毒とは気づかれず重症になるケースもあります。

家庭で出来る食中毒予防の6つのポイント

STEP 1

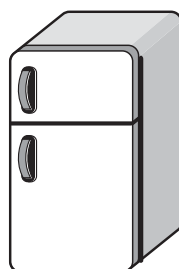
食品の購入



- 生鮮食品は新鮮な物を購入し、肉や魚の水分がもれないようビニール袋などにそれぞれ分けて包む。
- 表示のある食品は、消費期限などを確認し購入する。

STEP 2

家庭での保存



- 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったら、すぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れ、早めに使いきる。
- 冷蔵庫や冷凍庫の詰めすぎに注意。
(めやすは7割程度です)

STEP 3

下準備



- 生の肉、魚、卵を扱った後には手を洗う。途中で動物に触ったり、トイレに行ったり、おむつを交換したり、鼻をかんだりした後の手洗いも大切です。
- 生の肉や魚を切った後の包丁やまな板で、果物や野菜など生で食べる食品や調理の終わった食品を切らない。
- 冷凍食品などの解凍は冷蔵庫の中や電子レンジで行い、すぐ調理する。
- 包丁、食器、まな板、ふきん、たわし、スポンジなどは、使った後すぐに、洗剤と流水でよく洗う。
(熱湯消毒をするより効果的です)

STEP 4

調理



- 十分に加熱する。
(めやすは、中心部の温度が75℃で1分以上)

STEP 5

食事



- 食卓につく前に手を洗う。
- 清潔な手で、清潔な器具を使い、清潔な食器に盛りつける。

STEP 6

残った食品

- 残った食品はきれいな器具・容器を使って保存する。
- 温め直す時も十分に加熱する。
(汁物は沸騰するまで加熱しましょう)
- 少しでも怪しいと思ったら、食べずに捨てる。

予防ポイントを確認し、食中毒を未然に防ぎましょう！！

上更別幼稚園



紙芝居で交通ルールを勉強しました。道路を渡るときは右と左を確認します。

上更別小学校



自転車の乗り方を勉強しました。信号を渡るときは自転車を押して渡ります。

春の交通安全教室を開催

だんだんと暖かくなり外出する機会が増えていくと思われませんが、ぜひこの機会に交通安全について、家族や職場で話題にしてみてください。



交通量が増えている村民グラウンド横の交差点

子どもたちに正しい交通ルールを学んでもらおうと、村内の幼稚園と小学校で交通安全教室が行われました。
3月の高規格幹線道路更別インターチェンジの開通により、車両の交通量が増大し、交通の流れに変化が見られています。更別小学校の先生たちの調査によると、通学路の車の量は開通前に比べ朝の通学時間帯で約5倍、その中でも大型トラックが目立ったそうです。
そのため、更別小学校では実際にトラックを使ったデモンストラクションにより交通安全の恐ろしさを勉強しました。

更別幼稚園



クロネコヤマトのお兄さんたちと勉強しました。交通安全の約束を守ります。

更別小学校



トラックの内輪差について勉強しました。交差点では道路の側には立ちません。



どんぶり保育園



更別幼稚園

JAさらべつ青年部が行なっている食育活動として、更別幼稚園、上更別幼稚園、どんぶり保育園、更別小学校で野菜などの種まきなどが行なわれました。

どんぶり保育園では、岡田恭弘副部長はじめ部員8名が参加。青年部員から優しく説明を受けた年長組の園児たちは「大きなあれとえだまめ、にんじん、だいこんなどの種を



更別小学校



上更別幼稚園

ていねいにまきました。

最後に岡田副部長から「草が生えたら小まめに取ってください。出てきた野菜の芽を間違えて取らないでね」と上手に育てるポイントを教えてもらいました。

この日植えられた作物は、秋にまた青年部の皆さんと一緒に収穫をした後、みんなで美味しく食べる予定です。

5/21

大きく美味しく育つといいね



5/24 村営牧場で入牧開始

村営牧場で牛の受け入れが始まり、この日は、ホルスタイン240頭が入牧しました。

牧場内で月齢や品種ごとに各牧区に降ろされた牛たちは、耳標の確認や駆虫薬を塗布された後、久しぶりの広い牧場で走り回ったり、大きな鳴き声を挙げ少し興奮気味。春先からの低温や日照不足により、今年は入牧日を21日から24日に遅らせたものの、牛たちは栄養満点の一番牧草を美味しく食べていました。

預けられた牛は、牧場が閉鎖する10月下旬までの間に100キロ以上も体重を増やし、ほとんどの牛に人工授精が行なわれ、受胎牛として飼育の元へ帰っていく予定です。

5/24 更高生が園児と交流



お兄ちゃんお姉ちゃんと楽しい時間を過ごしていました。



平成25年度の北海道指導林家認定証伝達式が役場で行なわれ、瀬田川富郎さんが十勝総合振興局森林室の寺島幸弘室長から認定証や腕章を手渡されました。

認定を受けた瀬田川さんは同席した三好副村長と更別森林組合の森田政則代表理事組合長からのお祝いの言葉に「身に余る光栄です。興味を持って勉強してきた森づくりがこのように評価され嬉しいですね。今後も関係機関と協力し林業の魅力を伝えていきたい」と抱負を述べていました。

北海道指導林家とは、他の模範となる林業生産活動を展開している森林所有者等を北海道知事が林業の普及指導事業における指導者の役割を担う方として認定する制度です。

4/26

瀬田川さんが指導林家に



更別上更別幼稚園の年長組の園児15名と、社会福祉協議会が行う『いきいき健康クラブ』利用者26名の皆さんが交流会を開催しました。

利用者と園児が交互に座り、指運動やじゃんけんゲームなどの交流が行なわれ、園児が上手にフラフープを披露する場面もあり終始笑顔が絶えない会となりました。また、お互いの日のために手作りしたプレゼントの交換が行なわれ、園児からはメダルが、利用者からはペットボトルで作ったけん玉が手渡されました。

最後に園児らは「ありがとうございます。また遊んでください」と大きな声でお礼を言うてお別れしました。

5/11 春の図書室祭りを開催

農村環境改善センターで春の図書室祭りが開催されました。これは全国で行なわれている「子どもの読書週間」にあわせての開催。この日は10名の親子が参加しました。

参加者は本に触れ合うだけではなく、母の日のメッセージカード成や新聞紙を使ったかぶとの作成などに取り組みました。参加した子どもは「とても楽しかった。また図書室に遊びに来たいです」と笑顔で話してくれました。

教育委員会では秋の図書室祭りの開催も予定しており、よりたくさんの方が気軽に関心を持って利用して欲しいと話している。

5/10 いきいきと園児が交流



5/15

きれいな更別村に

毎年恒例となったクリーン作戦が村と更別村環境美化推進協議会の共催で今年も行なわれました。

クリーン作戦の実施にあたり更別村環境美化推進協議会の山内俊男会長から「高規格幹線道路が更別村までつながり多くの人に更別村を知ってもらえる機会が増えました。知ってもらえたらきれいな更別村にしましょう」と挨拶。159名の参加者は南1線や東15号など高規格道路の開通に伴い、交通量が増大している全長19.6キロの区間で、それぞれ4人1組で300間約546メートルの道路沿いでごみ拾いを実施。総重量1150キロものたくさんのごみが集められました。





お知らせ

家庭用生ごみ処理容器の 購入助成をしています

更別村環境美化推進協議会では、家庭から排出される生ごみの自然処理を推進し、ごみの減量化を図るため家庭用生ごみ処理容器の購入助成をしています。

- 対象者
村内に住所を有する個人
- 助成商品
 - ◆家庭用生ごみ処理容器 130ℓ
 - ◆家庭用生ごみ処理容器 230ℓ
- 助成基準
 - ◆一世帯2個までの助成
 - ◆指定販売業者からの購入

※一度助成を受けられた方は6年間助成対象となりません。

- 指定販売業者
 - ◆有限会社小川建設
 - ◆有限会社増田商店
 - ◆株式会社ヤマジョウ
 - ◆Aコープさらべつ店 ※順不同

- 助成額
1個につき3,000円

- 受付期限
7月31日(水)

- 申し込み
事前に指定の交付申請書を事務局に提出してください。

- 問い合わせ
更別村環境美化推進協議会事務局(役場住民生活課環境衛生係)
☎52-2112



マイマイガの駆除に ご協力ください

近年、マイマイガが大量発生していることから皆さんに駆除のご協力をお願いしています。駆除にご協力いただける方には、高圧洗浄機の貸し出しを行なっています。

- 貸し出し洗浄機
ケルヒャー K5600
- 貸し出し期間
貸出日から翌日の午後5時まで
- ※返却日が閉庁日のときは翌開庁日
- その他
取扱説明書を読んで正しくお使いください。使用後は、水を抜いて返却してください。
- 問い合わせ
役場住民生活課環境衛生係
☎52-2112



ハチ用防護服を 貸し出します

民有地にあるハチの巣の駆除は、各自の責任で対応していただいています。そのため役場ではハチ用防護服の貸し出しをしています。

- 貸し出し期間
貸出日から翌日の午後5時まで
- ※返却日が閉庁日のときは翌開庁日
- 貸し出し条件
作業中、ハチに刺されることがあっても村への責任を問わないこと
- その他
取扱説明書を読んで正しくお使いください。使用後は汚れをふき取り返却してください。ハチ駆除用の殺虫剤などは各個人で用意してください。
- 問い合わせ
役場住民生活課環境衛生係
☎52-2112

くりりんセンター休館日

7月15日(月)の『海の日』休館日です。くりりんセンターへのごみの持込はできません。

- 問い合わせ
くりりんセンター ☎37-3550

外国人の不法滞在防止に ご協力ください

国内には、入国審査を受けないで、もしくは在留期限を過ぎて滞在する不法滞在外国人が存在し、その多くは不法就労していると見られています。

また、不法滞在者や不法就労者の一部には、国際組織犯罪への関与を深めていることが懸念されています。

皆さんの近所に見慣れない外国人が多数集まる施設があるなどを見かけたり聞いたりした場合には、最寄の交番・駐在所に情報提供をお願いします。ご理解とご協力をお願いします。

- 問い合わせ
帯広警察署 ☎25-0110

子どもの人権「110番」

総務省の人権擁護機関では、深刻な社会問題となっている児童・生徒間のいじめ問題、教育職員による体罰問題など、子どもをめぐるさまざまな人権問題に積極的に取り組みその問題を解決するため、強化週間として「子ども110番」の相談時間を延長して対応します。

- 実施期間
6月24日(月)～30日(日)
- 対応時間
6月24日(月)～28日(金)
午前8時30分～午後7時00分
6月29日(土)～30日(日)
午前10時00分～午後5時00分
- 「子どもの人権110番」
フリーダイヤル ☎0120-007-110
- 問い合わせ
釧路地方務局人権擁護課
☎(0154)31-5014

教科書を展示します

村教育委員会では、小・中学校で現在使用している教科書の法定展示を、村改善センターのロビーで行います。詳しくはお問い合わせください。

- 展示期間
平成25年6月14日(金)から
平成25年6月27日(木)まで
- 問い合わせ
教育委員会事務局 ☎52-31717

土地の境界についての 相談を受けています

自分の土地とお隣の土地の境界が、はっきりしなくて困っている。お隣がいう境界の位置に納得できないなど、土地の境界に関しては、認識の違いからたびたび問題が起こります。こういった場合は、法務局が扱っている土地の境界を特定する『筆界特定制度』を利用されると問題が解決できるかもしれません。詳しくは法務局までお問い合わせください。

- 問い合わせ
釧路地方務局帯広支局 ☎24-5837

募集

税務職員を募集します

札幌国税局では税務職員を募集しています。人事院が実施する国家公務員採用試験の最終合格者の中から採用されます。

- 受験資格
高校卒業見込みの方が高校卒業後3年を経過していない方
- 試験程度
高校卒業程度
- 受付期間
◆インターネット
6月24日(月)～7月3日(水)
◆郵送・持参
6月24日(月)～6月28日(金)

- 申し込み
〒860-0042
札幌市中央区大通西12丁目
人事院北海道事務局
- 第1次試験
 - ◆試験日 9月8日(日)
 - ◆試験内容 基礎能力・適性・作文
 - ◆合格発表 10月10日(木)
- 第2次試験
 - ◆試験日 10月17日(木)～25日(金)のうち指定する1日
 - ◆試験内容 人物試験・身体検査
 - ◆合格発表 11月19日(火)
- 問い合わせ
札幌国税局人事第2課
☎(011)231-5001(内線2315)

帯広高等看護学院で 学院見学会を開催

帯広高等看護学院では、看護師に興味・関心のある方を対象に、学院見学会を開催します。

将来、看護師を希望している方の参加をお待ちしています。詳しくはお問い合わせください。

- 日時
 - ◆7月31日(水)
 - 午前の部 午前10時～午前11時30分
 - 午後の部 午後1時～午後2時30分
- 場所
帯広高等看護学院
- 内容
学院内見学、血圧測定などの体験学習など
- 対象者
高校2年生以上(初めての方のみ)
- 参加料
無料
- 持ち物
上履き
- 申し込み
氏名、性別、学年または年齢、学校名、午前・午後の部の別を添えて電子メールまたは電話で申し込みください。
- 受付期間
7月16日(火)9時～19日(金)17時
- 問い合わせ
帯広高等看護学院 ☎47-8881
obikan@m2.octv.ne.jp

国民年金

便利・安心・確実な 口座振替をご利用ください

国民年金保険料を納め忘れてしまった経験はありませんか?「忙しくて…」、「つい、うっかり…」といった理由でも保険料の納め忘れがあると、将来受け取る老齢基礎年金額が減額されたり、受けられなくなったりします。また、万が一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられなくなる場合があります。

そこで国民年金保険料の納付には、便利で安心確実な口座振替をおすすめします。

さらに、前納制度をご利用いただくと、現金で月々保険料を納付した場合に比べ、割引になります。

- 口座振替
口座振替申出書に必要な事項を記入・押印(金融機関の届出印)し、お近くの年金事務所の窓口にお申し込みされるか、ご郵送ください。金融機関の窓口に提出いただくこともできます。
- 前納制度
 - ◆1年度分もしくは上期6カ月分(4月分～9月分)は2月末
 - ◆下期6カ月分(10月分～翌3月分)は8月末
- それぞれの期限までにお近くの年金事務所にお申し込みください。
- 問い合わせ
帯広年金事務所 ☎25-8113

税

村・道民税第1期納期は 7月1日(月)です

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

- 問い合わせ
役場住民生活課住民税係
☎52-2112

更別村 こども 夢基金 ご活用ください

子どもたちが目標を持って、いきいきと夢に挑戦し、豊かな体験の充実を図る支援として更別村こども夢基金を設置しています。子どもたちの健やかな成長を育む事業を支援します。

- 対象事業
- ・読書活動など健全育成に関する活動
 - ・自然観察や社会奉仕など体験に関する活動
 - ・宿泊学習など交流に関する活動
 - ・芸能・芸術鑑賞などの活動
 - ・その他村長が適当と認める事業

- 対象者 村内に住所を有する個人または団体
- 対象経費 会場使用料や報償費、消耗品費など直接的経費に限る
- 助成金額 事業費の8割以内とし、1事業100万円の上限(村予算の範囲内)
- 事業実績 平成20年度…『茶道体験教室』(H24まで毎年実施)

『「カブラ」を使って遊ぼう』

平成21年度…『関根紀子先生をお招きして絵本の読み聞かせと絵本体験』
『十勝ふるさとの芸能フェスティバル札幌公演』

平成22年度…『更別村特別支援教育研修・講演会』
『宮西達也先生をお招きして絵本講演会』

■募集期間 平成26年2月1日

●問い合わせ 教育委員会事務局社会教育係 ☎52-3171



十勝スピードウェイ20周年記念

全日本ママチャリ8時間耐久レース

昨年は12時間から8時間に短縮し、明るい時間帯(9時~17時)、5.1キロのグランプリコースで実施したママチャリレース。今年は参加者の意見を基に、12時スタート、3.4キロのクラブマンコースで8時間耐久レースを開催します。

参加希望者は専用の申込用紙を公式ホームページからダウンロードし、必要事項を記入して、6月14日(金)までにお申し込みください。

開催日：7月27日(土)
時間：スタート 12:00
ゴール 20:00
参加料：1チーム 20,000円
会場：十勝スピードウェイ
入場料：1名 1,000円(中学生以下無料)
問い合わせ：ママチャリ耐久レース実行委員会事務局
(十勝スピードウェイ内)
☎ 52-3910 ☎ 52-3366
公式HP <http://www.tokachi.org/mamachari/>

農村環境改善センター 今月の図書室 おすすめ本

頭がいい子の図鑑の読み方、使い方

親野智可等／著



知っていますか？図鑑は「ただ眺める」のではなく、「使いたおす」ことで、子どもの能力を伸ばしてくれるのです。

「贅」の研究

福田 和也／著



「本当の贅沢とは何か？」を捜し求め、選り抜かれた本物を志向し文化を愛するフォトエッセイです。

日本全国百年食堂

椎名 誠／著



北は釧路から南は石垣島まで。おらが街で100年ほど続いている名物食堂42店！4年がかりの探訪記です。

選挙管理委員を 選任しました

任期満了に伴う選挙管理委員の選任が行なわれ、五十嵐博幸さん(錦町)、田中康雄さん(香川区)、黒木しのぶさん(柏町)、穴戸芳栄さん(勢雄区)の4名が選任されました。

委員の任期は、今年の5月8日から平成29年5月7日までの4年間。5月16日開催の選挙管理委員会の会議において、委員長に五十嵐さんが選出されました。五十嵐さんは「ネット選挙の解禁など難しい問題があることが予想されますが、選挙が公正にそして円滑に行なわれるようにしっかりと務めたいです」と抱負を話していました。



後列左より五十嵐さん、田中さん
前列左より黒木さん、穴戸さん

『高体連を終えて』
部活動担当教諭 竹内 雄史

平成25年度北海道高体連十勝支部各種競技大会が、5月23日~25日までの期間で行われました。本校からは、男子バスケットボール部・バドミントン部・ソフトテニス部・卓球部が参加したほか、柔道大会へも1名参加しました。3年生にとっては最後の高体連であるため、何とか良い結果を得て全道大会・全国大会へと駒を進めてもらいたかったのですが、今回出場した競技は十勝支部大会で惜しくも敗退してしまいました。結果は以下の通りですが、練習の時間がなかなか取れない中、出場生徒すべてが頑張ってくれたのではないかと思います。

以下は、各部活の3年生と柔道大会に参加した生徒の感想です。各種競技とも今後も応援をお願いいたします。また、ウエイトリフティング部の大会が6月14日(金)から行われます。全国大会を目指して練習中ですので、併せて応援をお願いします。

○男子バスケットボール部 3年 伊関 透
「試合は負けましたが、悔いはありません。後輩には今後も練習を続け、ぜひ試合で勝てるように頑張ってもらいたいです。(自分が得点をあげたことについてはやったという感じがしてうれしかった)」

○卓球部 3年 細矢 恭平
「練習が十分できていない中、悔いのない試合ができたと思います。負けましたが、試合を十分楽しめました」

○バドミントン部 3年 江口 将太
「試合は負けましたが悔いがなく、スッキリした気持ちです。(後輩へ)練習は辛くて大変かもしれませんが、頑張ってください。次の大会では、ぜひとも1勝して下さい。」

○柔道 2年 竹本 直樹
「2試合ともあつという間に終わってしまいました。今後に向けて練習を続け、良い結果が出せるよう努力します」

更別小学校が 表彰されました

社会福祉法人北海道共同募金会から更別小学校へ感謝状が贈られました。永年にわたり児童会が中心となって赤い羽根共同募金の募金箱設置による募金活動が評価されたものです

この日は全校朝礼にあわせて、更別村共同募金委員会の丹後正義会長から児童を代表して児童会の鎌水輝会長へ感謝状が、梶翔副会長へ記念品が贈呈されました。

平成24年度の更別小学校の募金額は11,155円。西山校長は「みなさんのおこづかいで募金した善意の気持ちが評価されました。これからも続けていきたいと思います」とお祝いの言葉を述べていました。



戸籍の窓口

希望者のみ掲載

誕生おめでとう

い と あす か
矢 戸 飛 香
の 博 章 ちゃん
野 や あお ば
譲 司 葉くん
石 やま けい こ
山 伶 兄 悟くん
林 英 英里香(柏 町)

※保護者敬称略

お悔やみ申し上げます

川 上 キクノさん 98歳
(更 別 区)

林 保さん 77歳
(本 町)

人のうごき

人 口

3,386人(－5人)【内外国人0人】

男1,680人(+1人)

【内外国人0人】

女1,706人(－6人)

【内外国人0人】

世帯数

1,296世帯(+4)

【内外国人4世帯】

※6月1日現在。()内は前月比。

地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録
127日(5月31日現在)

■5月の村内交通事故件数
3件(人身0件 物損3件)
【今年1月からの計22件】

■5月の村内犯罪発生件数
0件
【今年1月からの計2件】



高木 蒼大ちゃん
たかぎ そうだい
平成24年6月15日生
柏町

癒し系の蒼大です。いつもお姉ちゃんたちに遊んでもらっています。このまま元気にすくすく育ってね。

徹・いく子



財政状況を公表しています

村では財政状況を皆さんに公表しています。平成25年度の予算状況と平成24年度下半期の財政運営状況をまとめた財政状況説明書を閲覧することができ、閲覧を希望する方は総務課へお越しください。

●閲覧期限
平成26年5月31日
●問い合わせ
役場総務課財政契約係
☎52・2111



北更別区
よしだ あき ふみ
吉田 明史 さん



広報さらべつ 6月号
Public Relations Sarabetsu 2013 vol.609

平成25年6月10日発行(vol. 609)

更別村役場 住民生活課

〒089-1595

北海道河西郡更別村字更別

南1線93番地

☎0155(52)2111(代表) FAX0155(52)2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール(代表) village-office@sarabetsu.jp



表紙の風景
昨年は5月9日に咲いたすももの花。今年は昨年よりも18日遅い27日の開花でした。
前日まではずばみだった花も、最高気温29度と夏のような陽気に、待ってましたと言わんばかりに次々と開花。どんちゃんも「ようやく咲いたね」と花を見上げていました。
これで今年も美味しいすももの加工品が食べられるなと思った「花より団子」の人は私だけではないですよ。

表紙の風景